

1. 受験中学(もし必要なら、行をコピーして増やしてください。)

中学名(コース名)	都道府県(市)	一般枠/帰国枠/推薦	入試科目(学科)	面接	小論文	可否
開智所沢中(本科コース 国際クラス)	埼玉県	帰国	国語・算数	無	有(事前提出)	合格
学習院中等科	東京都	帰国	国語・作文・算数	有(グループ面接)	有	合格
逗子開成中学	神奈川県	帰国	国語・算数	無	有(事前提出)	合格

2. 試験の感想(学校別をお願いします。)

1 試験全体を振り返って。

・開智所沢中について

受験一校目の学校(試験日11月15日)だったため、緊張の中試験場に入った。オンライン説明会にしか参加出来なかったので、試験会場入りを1時間前に入った。受付後は、受験生と保護者は別々の会場へ分かれて、保護者はホールで学校説明を受ける。国語・算数の科目で受ける受験者数は英語・算数で受ける受験者数より少なかった。試験内容は、国語も算数も一般入試の問題よりも易しい。一般入試の過去問を2年分、帰国生用の過去問(算数のみ)を2年分解いた。開智所沢の先生によると合格点は、8割くらいと言われている。実際の本番については、算数は帰国生用過去問のものに近かった。国語は、一般入試用過去問のものより少し簡単に感じた。合格発表日が試験日の4日後でずっとそわそわしていたが、合格の画面が見られてうれしかった。

・学習院中等科について

学習院中等科は、国語50点、作文50点、算数100点、グループ面接100点の割合の試験なので、国語算数だけでなく、作文と面接の練習もした。帰国生の過去問は非公開なので、一般入試用の過去問を国算ともに10年以上解いた。本番の試験内容は、算数については一般入試用の過去問に近く、国語は一般よりも簡単であった。作文のテーマは帰国生が書きやすいもので、「自分が海外生活で成し遂げたことはなにか」というものだった。グループ面接では、ことばの部屋・体育の部屋・美術の部屋・理科社会の部屋などがあり、僕はことば(英語)・体育・美術になり、他の受験者たちと時には協力し合いながら、面接を進め

た。先生方は、みんな優しく緊張がほぐれた。合格発表は翌日の10時にオンラインで見られた。桜の花の画面が映っていてうれしかった。

・逗子開成中学校

逗子開成は事前に600字程度の作文を提出する必要がある。学校説明会にいったとき、帰国生用の過去問を2年分いただいた。帰国生入試の難易度は、一般と変わらない。そのため、一般入試用の過去問を10年以上解いた。国語は合格最低点に到達していたが、算数が到達できていなかったのでぎりぎりまで自分の苦手分野の問題などを解いていた。本番の試験でも、国語と算数ともに過去問と同じレベルの問題だと感じた。国語は手ごたえを感じていたが、算数はいつも通りの感じだったのでヒヤヒヤしたが合格いただけでうれしかった。

2 面接試験の傾向と感想

学習院中等科は、他の学校とは違いグループ面接でいろいろなことを聞かれる。時事問題、海外生活の様子、将来描いていること、文学・美術のこと、チームワークなど様々である。そのため、できるだけニュースを見たり、新聞を読んだりする方がいいと思う。

3 小論文試験の傾向と感想

学習院中等科の作文は、原稿用紙2枚分の量を25分間で書く必要がある。本番までに何回か海外生活に関連するテーマを考えて、制限時間内に書く練習した方がいい。親や先生に添削してもらったら、見直して書き直すことを繰り返してやり、文字数と制限時間になれておくといいと思う。

4 その他

3. 自分の受験勉強法

塾の先生と相談して、勉強スケジュールを立ててから自学しほうがいい。また、日本の模試(僕は四谷大塚の模試をうけていた)をオランダでも受けた方がいい。自分の立ち位置や志望校との距離が分かり、モチベーションにもなる。

4. 学校生活の感想、アドバイス

5. ELCでの体験、感想

國忠先生が緻密に受験勉強スケジュールを立ててくださったり、苦手な単元などをピックアップしてできるようにしたりしてくださったおかげで、算数の成績も安定しました。國忠先生には感謝しかありません。ありがとうございました。

6. 後輩へのメッセージ

先生のおっしゃることを信じて、コツコツと頑張れば合格できます！がんばってください！
あとオンライン説明会だけでなく、一時帰国の際に色々な学校の学校見学に行くことをおすすめします。実際に学校見学に行くと自分の学習モチベーションもアップすると思います。また、帰国受験というと高い英語力が必須と考えがちですが、国語(作文含む)と算数だけで勝負できる学校も多々あるので、自分に合った受験スタイルで頑張ってください。

7. その他